

国際規格の認定

水質検査で取得

食品環境検査センター

県食品衛生協会は17日、同協会の食品環境検査センター（西彼長与町高田郷）が実施する水質検査について、検査機関の信頼性を証明する国際規格「ISO/IEC17025」の認定を県内で初めて取得したと発表した。

同センターは1979年に開設。水道水や井戸水などの水質のほか、食品成分や毒性、食品を取り扱う施

設の衛生状態なども検査している。「ISO/IEC17025」は、試験所などの検査機関が正確な測定結果を生み出す能力があることを示す規格。検査技術や検査結果の公平性、検査の機密保持性などを評価する。同センターは昨年12月12日付で認定を取得した。

同センターの松永淳一郎理事検査部長は「規格は国際基準なので、輸出などの面でも有効になる。認定により、検査の安全性を皆さまに理解してもらえれば」としている。（岩佐誠太）